

ビーチバレーボールのルールについて

このページでは、ビーチバレーボール大会に初めて参加する生徒・顧問の先生方に向けたルールの説明を行います。ルール等について、さらに詳しく知りたい方は、ルールブック等の購入をご検討下さい。

☆ビーチバレーボール 2人制と4人制のルールについて

ビーチバレーボールは本来2人で行うスポーツです。そのため、4人制ビーチバレーでは、6人制バレーに少し近づけたルールになっています。以下の表では、2人制におけるルールと、4人制ならではのルールをまとめました。

項目	2人制ビーチバレーボール	4人制ならではのルール	備考
コート	サイズ： 片面8 m×8 m（男女とも） ライン： センターライン と アタックラインはない		
ネットの 高さ	埼玉県中学生ビーチバレー大会では 男子230 cm 女子215 cm		全国大会のネットの高さに準じる
チーム構成	1チームは競技者2名、監督1名以内で構成	1チームは競技者4名以上6名以内、監督1名以内で構成	
セット及び 試合の勝者	1セット21点マッチ ※3セットマッチの場合、3セット目は15点マッチ		大会によって変更あり
コートチェンジ (コートスイッチ)	両チームの点数合計が7の倍数のとき ※3セット目は5の倍数		
ポジション	コート内であれば フリーポジション		
タイムアウト	各セットにつき1回（30秒間） ※両チームの合計得点が21点になったとき、自動的にテクニカルタイムアウト（30秒間）が入ります。		
選手交代	選手交代はできない 怪我・病気等の場合、最大5分間の治療時間が与えられる。それでも続行ができない場合は、そのセット（試合）は終了となる	1セットにつき最大4回の選手交代が認められる 交代してコートから出ても1セットにつき1度だけコートに戻ることができる	
サーブ	試合前にサーブ順（1・2）を決めて、その順番を守る 主審の吹笛から5秒以内に打つ	試合前にサーブ順（1～4）を決めて、その順番を守る	
アタックヒットの反則	① フェイント（指の腹を使ったティッププレー）は反則 ② オーバーハンドパスで、両肩に対し直角でない方向にアタックヒットを完了したら反則		
ダブルコンタクト	チームの1回目のヒットにおいても、指の腹を用いたオーバーハンドパスで連続した接触は反則となる	チームの1回目のヒットにおいては、指の腹を用いたオーバーハンドパスで連続して接触しても反則にはならない	
ブロック	ブロックへの接触（ワンタッチは、そのチームの1回目のプレーとして数え、チームはその後、2回のプレーができる	ブロックへの接触（ワンタッチは、そのチームの1回目のプレーとして数えず、チームはその後、さらに3回のプレーができる	

※「ブロック」については、2人制・4人制ともに、本来のルールでは、『ブロックへの接触（ワンタッチ）は、そのチームの1回目のプレーとして数え、チームはその後、さらに2回のプレーができる』とされています。埼玉県での4人制大会では、全国大会のルールに準じて行うため、上記の表に記載されているルールで実施します。